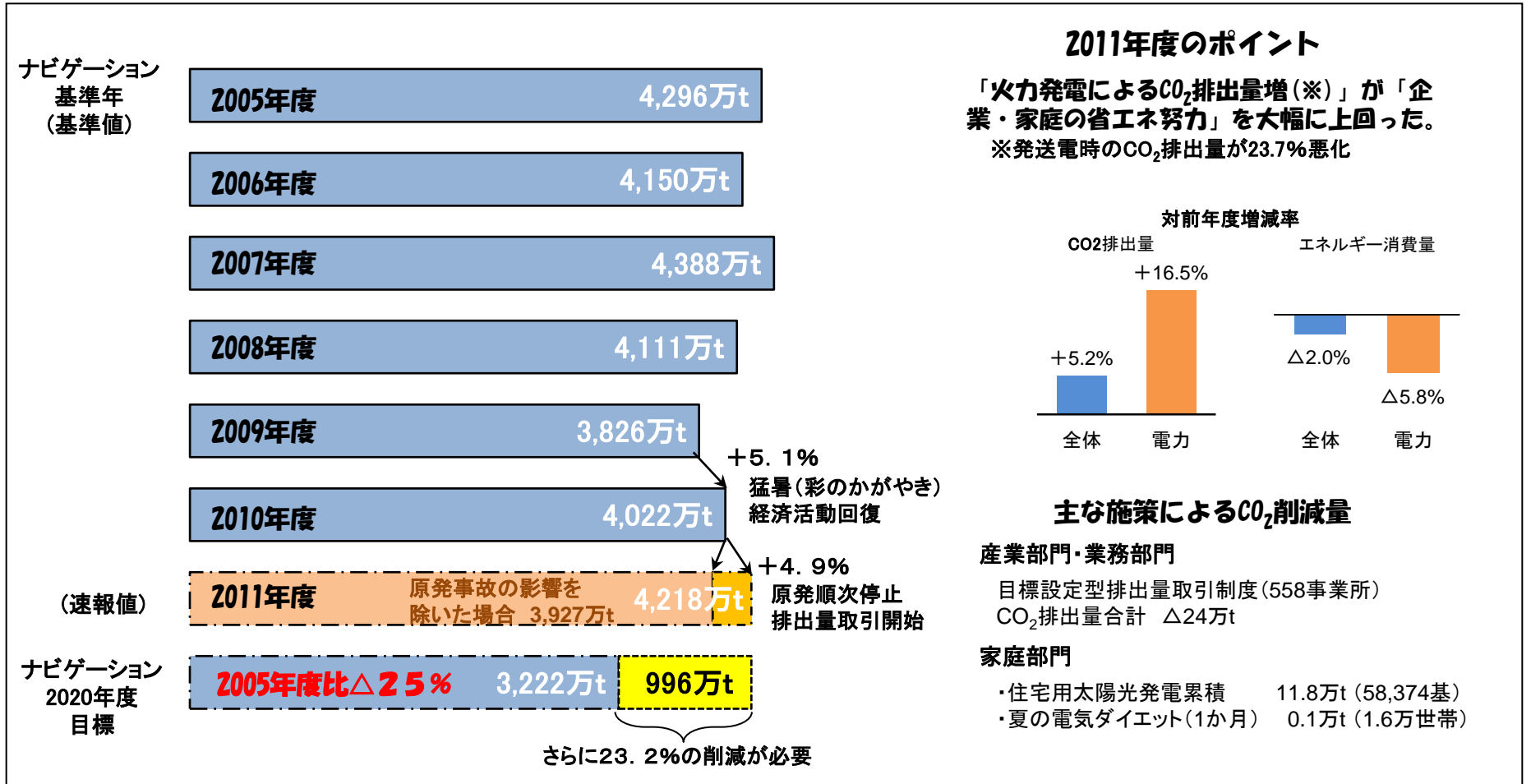
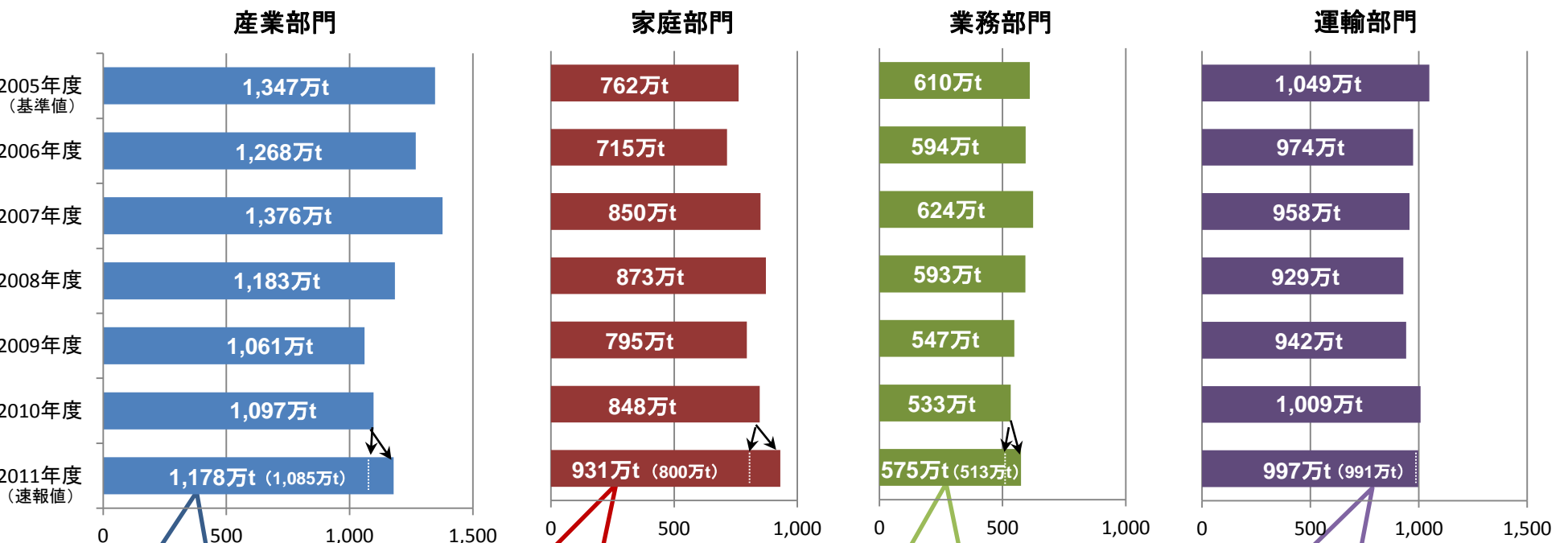


1. 2011年度(平成23年度)の温室効果ガス排出量(速報値)[4,218万トン/年]



2. 温室効果ガス排出量の内訳



部門別の主な増減要因と今後の取組

【産業部門】

(2005) (2011) (△13%)
1,347万t → 1,178万t (△169)

- ・経済の縮小とともに製造業のエネルギー消費量が減少し削減傾向
- ・2011年度は震災の影響もありエネルギー消費量が減少(△0.2%)したが、電力原単位の悪化により排出量は増加(+7.3%)
- ・中小企業の省エネ対策の徹底が課題

【家庭部門】

(2005) (2011) (+22%)
762万t → 931万t (+169)

- ・家庭用機器の大型化・多様化、世帯数の増加等により増加傾向
- ・2011年度は節電の取組等で電力消費量が減少(△7.3%)したが、電力原単位の悪化により排出量は増加(+9.8%)
- ・家庭の省エネ対策の徹底が課題

【業務部門】

(2005) (2011) (△6%)
610万t → 575万t (△35)

- ・省エネ対策等により削減傾向
- ・2011年度は節電の取組等で電力消費量が減少(△7.9%)したが、電力原単位の悪化により排出量は増加(+7.9%)
- ・建物の省エネ化の促進等が課題

【運輸部門】

(2005) (2011) (△5%)
1,049万t → 997万t (△52)

- ・自動車対策等により微減傾向
- ・2011年度は自動車の燃料消費量が減少して、排出量が減少
- ・次世代自動車の普及拡大が課題